

# 9.23<sup>土</sup> のだむら祭生ミーティング Nodamura Meeting for Geinoh Beginnings and Beyond

16:00-17:30 (開場15:30)

September 23 (Sat), 2023 4:00PM - 5:30PM (Entrance Open 3:30PM)

ローカル (地域) の芸能や食文化で、グローバル (世界) とつながる。

築160年以上の南部曲がり家を改修したワーケーション施設「庵日形井」で、世界で活躍する日本の芸能文化を学んだり、食文化を体験しながら、地域 (ローカル) の創造性、可能性を高める交流ミーティングです

ゲスト

- 1 | 久慈工業高等学校料理部 (岩手県野田村)
- 2 | 岩谷堂高等学校鹿踊部
- 3 | 神谷俊一郎 (プロ太鼓奏者)
- 4 | 菅野敦司 (公益財団法人鼓童文化財団専務理事)
- 5 | 柴田智之 (俳優・アーティスト)

▶ 庵日形井 (築160年の南部曲がり家)  
岩手県九戸郡野田村野田第6地割62 アジア民族造形館内


● アクセス | 道の駅のだから庵日形井まで車で18分  
※駐車場あり (無料)。公共交通機関はありません。現地集合・現地解散

In the lori Hikatai, a workcation facility renovated from a more than 160-year-old Nanbu Magariya (a curved house), young performers, professional taiko drum artists, and regional development coordinators from Noda Village and elsewhere gather. In these exchange meetings, they discuss the appeal of the arts, share the creativity and possibilities that reside in the Tohoku and Sanriku regions, and make new friends.



▶ lori Hikatai (Nanbu Magariya curved house)  
Asia Folkcraft Museum, 6-62 Noda, Noda, Kunohe, Iwate 028-8201  
● Access | From Roadside Station Noda to lori Hikatai - Around 18 minutes by car

**無料 | 事前インターネット予約 (先着15名)**  
\*Free / Advance online reservation (15 people - first come first served)  
予約申込 | <https://forms.gle/YhrvPdYu1DHTQdpF6>  
申込開始 | 2023年8月1日 (火) 14:00



# 9.24<sup>日</sup> 三陸のだむら未来芸能祭 アクセス

▶ 十府ヶ浦公園

- 公共交通機関  
[青森八戸ルート] 東京駅 (東北新幹線 2時間45分) — 八戸駅 (八戸線 1時間44分) — 久慈駅 (三陸鉄道リアス線 13分) — 陸中野田駅 — 徒歩12分  
[岩手二戸ルート] 東京駅 (東北新幹線 2時間40分) — 二戸駅 (バス・スワロー号 1時間10分) — 久慈駅 (三陸鉄道リアス線 13分) — 陸中野田駅 — 徒歩12分
- 新幹線+レンタカー  
[青森八戸ルート] 東京駅 (東北新幹線 2時間45分) — 八戸駅 (レンタカー 1時間15分) — 野田村役場 — 徒歩12分  
[岩手二戸ルート] 東京駅 (東北新幹線 2時間40分) — 二戸駅 (レンタカー 1時間30分) — 野田村役場 — 徒歩12分
- 飛行機+レンタカー | 羽田空港 (飛行機 1時間20分) — 三沢空港 (レンタカー 1時間30分) — 野田村役場 — 徒歩12分

※公園に駐車場はありませんので、車でお越しの際は野田村役場前広場をご利用ください。

▶ Noda Village "Tofugaura Park"

- Public Transport  
[Aomori / Hachinohe Course (Shortest)] Tokyo Station (Tohoku Shinkansen - 2 hours 45 minutes) — Hachinohe Station (Hachinohe Line - Around 1 hour 44 minutes) — Kuji Station (Sanriku Railway Rias Line - 13 minutes) — Rikuchu Noda Station — Around 12 minutes on foot  
[Iwate / Ninohe Course] Tokyo Station (Tohoku Shinkansen - 2 hours 40 minutes) — Ninohe Station (Swallow bus - Around 1 hour 10 minutes) — Kuji Station (Sanriku Railway Rias Line - Around 13 minutes) — Rikuchu Noda Station - Around 12 minutes on foot
- Shinkansen + Rental Car  
[Aomori / Hachinohe Course (Shortest)] Tokyo Station (Tohoku Shinkansen - 2 hours 45 minutes) — Hachinohe Station (Rental Car 1 hour 15 minutes) — Noda Village Office — Around 12 minutes on foot  
[Iwate / Ninohe Course] Tokyo Station (Tohoku Shinkansen - 2 hours 40 minutes) — Ninohe Station (Rental car - 1 hour 30 minutes) — Noda Village Office — Around 12 minutes on foot

● Airplane + Rental Car  
Haneda Airport (Airplane - 1 hour 20 minutes) — Misawa Airport (Rental Car - 1 hour 30 minutes) — Noda Village Office — Around 12 minutes on foot  
\*There is no parking lot. If coming by car, please use the plaza in front of the Noda Village Office, etc.



**三陸国際芸術祭について**  
三陸国際芸術祭は、東日本大震災を機に三陸沿岸地域を訪れたアーティストと郷土芸能の出会いから2014年に始まりました。青森県八戸市から岩手県陸前高田市まで太平洋に面する全長600km以上を舞台に、芸能の宝庫である三陸の魅力を国内外に伝えながら、アジアを中心とした世界の芸能や現代アーティストとの交流により、持続可能な「創造的復興」の実現を目指す芸術祭です。

**About Sanriku International Arts Festival**  
The Sanriku International Arts Festival began in 2014 as a result of the encounter between artists who visited the Sanriku coastal area and local folk performing art practitioners after the Great East Japan Earthquake. This is a festival that reaches over 600km as its core location from Hachinohe City, Aomori Prefecture, to Rikuzentakata City, Iwate Prefecture, aiming to realize a sustainable "creative recovery" by communicating the charm of Sanriku, a treasure trove of performing arts, to people in Japan and abroad, and by exchanging with traditional and contemporary performing artists from all over the world, especially from Asia.

## 三陸国際芸術祭2023 移ル 三陸のだむら未来芸能祭・のだむら祭生ミーティング

主催 | 三陸国際芸術推進委員会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁 共催 | 八戸市、陸上町、洋野町、久慈市、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町、三陸鉄道株式会社、公益社団法人全日本郷土芸能協会、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター、特定非営利活動法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク、IBC岩手放送 協力 | 特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ、合同会社imajimu、東北文化財映像研究所、みんなのしるし合同会社、ワールド太鼓カンパニース実行委員会 企画制作 | 三陸国際芸術推進委員会、公益社団法人全日本郷土芸能協会 メインビジュアル | 野田村なもみ保存会 撮影 | 田附勝 デザイン | LABORATORIES 後援 | 岩手県、公益財団法人さんりく基金、三陸ジオパーク推進協議会、岩手日報社、東奥日報社、東海新報社、デーリー東北新聞社、NHK盛岡放送局、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、八戸テレビ放送、青森テレビ、青森朝日放送、エフエム岩手、FMねまらいん、青森放送、エフエム青森、コミュニティラジオ局BeFM

お問合せ | 公益社団法人全日本郷土芸能協会 〒106-0032 東京都港区六本木4-3-6-206 TEL | 03-6804-2660 Mail | kyoudogeinoh@jfpaa.jp

総合窓口 | 三陸国際芸術推進委員会 事務局 TEL | 019-656-8145 Mail | info@sanfes.com

JAPAN CULTURAL EXPO 2025




©Expo 2025



# 三陸のだむら未来芸能祭 Sanriku International Arts Festival Nodamura Meeting for Geinoh Beginnings and Beyond Future Nodamura Sanriku Arts Festival

三陸国際芸術祭 2023 移ル  
Sanriku International Arts Festival 2023 SHIFU

2023 9.24<sup>日</sup>  
13:00-15:45 受付開始 12:00 開場 12:30

とぶがうらこうえん  
十府ヶ浦公園  
多目的イベント広場  
岩手県九戸郡野田村大字野田第16地割76  
※雨天時：野田村体育館 (野田村野田第20地割14)

無料 | 入退場自由 (一部イス席あり)

公式サイトにて、「三陸のだむら未来芸能祭」出演団体詳細や、「のだむら祭生ミーティング」のプログラムなどを順次情報公開いたします






## 三陸のだむら未来芸能祭

東北・三陸地域の未来を担う若き芸能者にフォーカスした郷土芸能祭を、今年は岩手県野田村で開催します。岩手県北東部沿岸に位置する野田村。貴重な塩を牛（へこ）の背に載せ、険しい北上山地を越えて各地に展開した「塩の道」を有し、小正月になると山から神の使い「なもみ」が降りてくる、伝統が息づく村です。津波や飢饉など幾度も災害に見舞われた歴史がありながらも、先人たちはあきらめることなく、石碑に伝言を込めたり、芸能や行事を楽しみながら未来を切り拓いてきました。この芸能祭は、未来志向の野田村の野外公園に、才覚あふれる次世代芸能者たちが集い、各郷土の文化に彩られた芸能交流を繰り広げます。郷土芸能は、その土地に生きるための技・力・知恵が結集したもの。新しい技・力・知恵・人が集う野田村で、新たな”芸能”と、地域の未来を創造してみませんか？

### 出演（順不同）

岩手県野田村	野田中学校創作太鼓「陸奥」「路」「野田中囃子」
岩手県野田村	なもみ
岩手県野田村	大黒舞
岩手県普代村	鶺鴒神楽「山の神」
岩手県奥州市	岩手県立岩谷堂高等学校 鹿踊部「礼庭」 ※鹿踊体験コーナーあり
北海道札幌市	柴田智之（俳優・アーティスト） 小芝居「A氏80代女性の故郷を訪ねて」
ワールド太鼓カンファレンス	神谷俊一郎（プロ太鼓奏者）「大太鼓」



### 野田中学校創作太鼓 野田村立野田中学校3年生（岩手県九戸郡野田村）

“Noda Junior High School Taiko Group”  
3rd grade students of Noda Junior High School (Noda Village, Iwate)

### 野田の未来を照らす太陽に

To the sun which brings light to the future of Noda Village  
野田中学校は野田村唯一の中学校として、現在全校生徒90名が「野田村の太陽になろう」を合言葉に、学校生活を送っています。これは、震災当時の先輩達が抱いた、自分たちが野田村を明るく照らす太陽になろうという想いから生まれた言葉です。この合言葉のもと、私達も、歴代の先輩方がつくってきた伝統や文化をさらに発展させようと努力しています。「創作太鼓」は、震災で深く傷ついた村の姿を目の当たりにした先輩達が、自分達も何か力になりたいという声をあげ、その想いからはじまったものです。代々受け継がれ、私たちは11代目となります。私達3年生32名は歴代の先輩の姿に学び、試行錯誤を重ねながら、自分達の表現を追究してきました。ふるさとを愛し、ふるさとに生きる者の想いを感じていただければ幸いです。

### なもみ 野田村なもみ保存会（岩手県九戸郡野田村）

“Namomi” Noda Village Namomi Preservation Society (Noda Village, Iwate)

### 野田の小正月の風物詩が一足先にやってくる

The unique seasonal event for Koshogatsu, little New Year, moves forward in Noda Village  
日本全国の沿岸部には、山や海からおそろしげな見た目の神が里や家に来て、人々に幸福を授ける「来訪神」行事が伝わっています。野田村の「なもみ」もその一つで、毎年1月15日の小正月に、手に刃物、藁蓑（わらみの）を着た鬼たちが、家々にやってきます。野田村に生まれた子供たち誰もが通る行事。風物詩であり、幼児教育の一環としても待ち望まれています。震災で面や衣装も流されましたが、野田村の伝統として今も大切に伝えられています。

## Sanriku Nodamura Future Performing Arts Festival

The folk performing arts festival focuses on young performers who are responsible for the future of the Tohoku and Sanriku regions. This year, it will be held in Noda Village in Iwate Prefecture. Noda Village is located in the northeastern coastal area of Iwate Prefecture. This village has the “salt road” where precious salt was carried on the backs of cattle (cows), and deployed throughout the region by crossing the harsh Kitakami mountains. Noda is also the home of traditions which state that “namomi” demons that the gods use fall from the mountains during the First Full Moon Festival. The area has a history of being hit by numerous natural disasters such as tsunamis and famine. Village ancestors never gave up in the face of these hardships, carving a path to the future by engraving messages on stone monuments and enjoying arts and events. This festival of folk performing arts features a gathering of highly talented young performers in a future-oriented seaside outdoor park in Noda Village. These performers have expansive discussions about the arts which color the culture of each region. These local performing arts are packed with the techniques, strength, and wisdom for life in these areas. Create a new future for the region with new performing arts at Noda Village, where you can find new techniques, strength, wisdom, and people.



## 大黒舞 野田村大黒舞の会（岩手県九戸郡野田村）

“Daikokumai Dance” Noda Village Daikokumai Dance Society (Noda Village, Iwate)  
福を呼び込む、野田村女性たちの大黒舞  
Daikokumai of Noda Village women attracts good fortune

「大黒舞」は三陸沿岸の人々にとって、福を呼び込む神様の芸能としてとても大切にされ、各所で舞われています。野田村では、村の女性たちが大黒様の衣装で、新年1月15日に行われる小正月行事に出演し、幸福を授けます。2023年に行われたアーティスト・イン・レジデンスで来村したアーティストの柴田智之さんが、大黒舞の方々と交流しながら舞を習い覚え、野田村を表現した作品にも取り入れられています。

## 鶺鴒神楽 鶺鴒神楽保存会（岩手県九戸郡普代村）

“Unotori Kagura” Unotori Kagura Preservation Society (Fudai Village, Iwate)  
北三陸の廻り神楽、野田の浜に舞い込む  
North Sanriku traveling kagura dance, coming to the beaches of Noda

鶺鴒神楽は山伏神楽（山伏が里人のために祈願し楽しませるために舞う神楽）の一種で、普代村鳥居に鎮座する鶺鴒神社の神霊を移した獅子頭「権現様」を持ち、毎年1月から3月にかけて大漁成就・五穀豊穡や家内安全などの祈禱を行なうため巡業（三陸沿岸各地の家々を回る）しています。この巡業は岩手県久慈市まで北上する「北廻り」と同県釜石市まで南下する「南廻り」を隔年で行ない、神楽を受け入れる地域の人々からは「鶺鴒様」と呼ばれて敬われています。国指定重要無形民俗文化財。

## 金津流鹿踊 岩手県立岩谷堂高等学校 鹿踊部（岩手県奥州市江刺）

“Kanatsuryu (Kanatsu Style) Shishiodori”  
Iwate Prefectural Iwayado High School Shishiodori Dance Group (Oshu City, Iwate)

踊る、歌う、たたく。岩手を代表する鹿踊の高校生、三陸に来る  
Dance, sing, and beat. Representing Iwate, high school Shishiodori dancers come to Sanriku  
鹿踊部は平成9年に創部され、地域に伝わる「金津流鹿踊」に取り組んでいます。この鹿踊は神事芸能として、また祖先の供養や五穀豊穡を祈願して踊られてきました。八頭で踊るもので、約15kgにもなる装束を身に付け、一人の踊り手が唄・太鼓・踊りを行う過酷な伝統芸能です。また念仏調の唄も鹿踊の魅力のひとつです。私たちは地域に伝わる郷土芸能を忠実に守り、先輩から後輩へ伝える努力をしています。昨秋、3年生が引退し、一時は踊り手が1名になってしまいました。しかし、春に新入部員を迎え、現在は踊り手9名が熱心に踊りに励んでいます。

## 小芝居「A氏80代女性の故郷を訪ねて」 柴田智之（俳優・アーティスト 三陸芸能短期留学2022 野田村滞在アーティスト）

“Theater” Tomoyuki Shibata (Sapporo City, Hokkaido)

### 野田村の芸能と人との交流から生まれた表現

Expressions born from the exchange with the performing arts and people in Noda Village  
2000年より、絵画・陶芸・楽曲制作・ライブ・身体表現、戯曲制作／演出／上演など多岐に亘る創作活動を始めました。2019年から創作活動の飛躍のため、作業療法士資格を得るため夜間学校に入学後、国家試験合格。俳優、アーティスト、介護福祉士・児童指導員などを経験しながら、札幌の森の中に自宅兼アトリエを構え、福祉と創作を併せ持った創作活動をしています。三陸国際芸術祭アーティスト・イン・レジデンス事業で、2023年1月9日～16日に野田村に滞在し、「大黒舞」と「なもみ」を習い、小正月行事に参加しました。今回は野田村でのレジデンスをもとに創作した作品の、野田村凱旋初上演です。

## 和太鼓 神谷俊一郎（プロ太鼓奏者・ワールド太鼓カンファレンス推薦者）

“Japanese Taiko Drums” Shunichiro Kamiya (World Taiko Conference)

### 世界で活躍する日本の“和太鼓”

Japanese taiko drums, active all over the world  
創作太鼓は約70年前に生まれた日本発祥の芸能ですが、文化や人種、性別などを超えて世界中に広がっています。「太鼓カンファレンス」とは太鼓愛好者が一堂に集い、ワークショップやシンポジウム、演奏会などを通して交流するイベントです。北米では1997年、ヨーロッパでは2016年から開催し、日本ではワールド太鼓カンファレンス（WTO）として2020年にオンラインで開催しています。この度、WTCではプロ和太鼓奏者の推薦に協力しています。  
神谷俊一郎（かみやしゅんいちろう） | 2017年、「太鼓芸能集団 鼓童」から独立。全米最大アートフェスティバル「Burning Man」にて史上初招待和楽器奏者として参加。人間国宝の坂東玉三郎氏、指揮者の下野竜也氏、歌手のAI氏等とも共演を行い、世界各国で長期ツアーを含め累計1000本以上の劇場公演を経験。2022年、名古屋市ちくさ座にて「ZIQQRAT〜ジグurat〜」を初演し大きな反響を得る。まといの会 主宰。